

インド港湾協会、海事経済・連結性センターと 研究交流等に関する覚書を締結

一般財団法人運輸総合研究所は、2026年5月29日に、インド共和国の政府系シンクタンクであるインド港湾協会（IPA）及び海事経済・連結性センター（CMEC）と、5年間の研究交流等協力活動に関する了解覚書（MOU）を締結し、その署名式をインド・ニューデリーのIndia Habitat Centreで開催しました。

インド港湾協会（IPA: Indian Ports Association）

1966年に設立され、インドの全主要港の成長・発展と海事分野の統合を目的として、港湾施設のコンサルティングや政策立案の支援などを行っている機関。

海事経済・連結性センター（CMEC: Center for Maritime Economy and Connectivity）

海事分野の国家戦略を実現するため、2023年に、インドの国際経済シンクタンクである途上国研究情報システム（RIS: Research and Information System for Developing Countries）内に設立された機関。

運輸総合研究所は、2026年秋頃にニューデリー事務所の設立を予定しており、インドをはじめとする南アジア地域の官民関係者との人的ネットワークや信頼関係の構築、連携・協働に取り組んでいます。両機関と運輸総合研究所は、海事分野の研究における関心分野が一致することを確認し、研究交流の協力体制を構築することが、質の高い研究調査の実施、ひいてはインド太平洋地域における海事及び港湾分野の発展に資すると考え、3者でのMOU締結に至りました。

なお、運輸総合研究所は、ガティ・シャクティ・ヴィシフヴィディヤラヤ（GSV、インド共和国鉄道省付属の中央大学）及びナショナル・マリタイム・ファウンデーション（NMF）と2024年8月及び2025年10月にそれぞれMOUを締結しており、日・インド間の陸海を網羅する協力体制を構築しています。今般のMOU締結により、海事及び港湾の分野でその関係がさらに強化されることになります。

また、署名式後に、ラウンドテーブル・ディスカッションが日・インド双方の参加により同会場で開催されました。



宿利会長による挨拶



締結式の写真

〔写真左から〕CMEC シュロトリヤ統括役、RIS シャルマ理事長（CMECを代表）、IPA パテル専務理事、運輸総合研究所 宿利会長



ラウンドテーブルディスカッションの写真

〔写真左から〕CMEC シュロトリヤ統括役、在インド日本国大使館松野参事官、T. K. ラマチャンドラン元港湾・海運・水路省事務次官（議長）、RIS スジット・サマダール客員研究員、RIS プラビール・デ教授